2023　年度　授業計画（シラバス）

学　　科	診療放射線技師学科（昼間部）		科　目　区　分	専門分野	授業の方法	講義
科　目　名	放射線治療技術学Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15　(1)　時間(単位)
対 象 学 年	3年次		学期及び曜時限	前期	教室名	第3校舎 901教室
担 当 教 員	小松　裕司	実務経験とその関連資格	放射線治療専門放射線技師、放射線治療品質管理士 10年以上にわたり放射線治療部門専従として照射、品質管理、治療計画など、放射線治療業務全般を担当した。			

《授業科目における学習内容》

正確かつ高精度な放射線治療を実施するためには、正しい線量計測法を理解する必要がある。そこで、線量計測に必要となる知識および計算法の修得を図る。

《成績評価の方法と基準》

筆記試験（70%）
出席点（20%）
平常点（10%）　授業への参加・貢献度、ミニッツペーパーの内容、授業態度を総合的に評価します。

《使用教材（教科書）及び参考図書》

使用教材：榮　武二『放射線治療基礎知識図解ノート』金原出版株式会社　2021年
参考図書：日本医学物理学会『外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法　標準計測法12』
　　通商産業研究社　2012年

《授業外における学習方法》

シラバスに記載されている授業内容を確認し、教科書や参考書を利用して事前学習を行う。また、授業後は必ず復習を行い、知識の定着を図るとともに、不明点や疑問点は次回の授業までに解決すること。

《履修に当たっての留意点》

授業内容の理解度の確認、不明点や疑問点の把握のために、毎回授業終了前にミニッツペーパーを作成してもらい、学生と教員の双方向コミュニケーションが図れる授業を行います。わからないことは遠慮せず質問してください。

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	線量計測の基礎知識および使用する器具について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	線量計測概要		
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	線量測定に関する用語とその意味について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	線量測定に関する用語		
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	モニタ設定値（MU値）の算出方法について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	モニタ設定値（MU値）の算出（演習）1		
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	モニタ設定値（MU値）の算出方法について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	モニタ設定値（MU値）の算出（演習）2		
第5回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	水吸収線量の算出方法および各補正係数について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	水吸収線量の算出（演習）1		

授業の方法			内　　容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	水吸収線量の算出方法および各補正係数について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	水吸収線量の算出(演習)2		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	標準測定法12について理解する	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	標準測定法12		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	放射線治療技術学Ⅱで学習した内容を振り返り、理解を深める	教科書 配布資料	教科書や配布資料を用いて予習、復習を行い、理解を深める。
		各コマにおける授業予定	放射線治療技術学Ⅱ　総括		